

大森病院腎臓学講座



内科メンバー (学内.敬称略.2022現在)

- 酒井謙 (卒後34年目) 教授、副院長
- 齊藤彰信 (卒後19年目) 副医局長
- 小口英世 (卒後16年目) 講師
- 木内亜紀 (卒後12年目) 准修練医
- 小田さやか(卒後12年目) シニアレジデント
- 荒井太一 (卒後10年目) 助教
- 大西弘夏 (卒後10年目) 准修練医
- 中山侑泉 (卒後10年目) 社会人大学院生
- 中田憲治 (卒後8年目) シニアレジデント
- 中田有未 (卒後8年目) シニアレジデント
- 高上紀之 (卒後7年目) 社会人大学院生
- 嶋田友紀 (卒後6年目) レジデント
- 古川智士 (卒後3年目) 内科専攻医

内科班 ①

小口英世
小田さやか
中田憲治
±研修医 or 専攻医
±学生

内科班②

荒井太一
中田有未
嶋田友紀
±研修医 or 専攻医
±学生

透析班
斎藤彰信
木内亜希

病理フリー(社会人大学院生)

高上紀之
中山侑泉 (国立栄養研究所)

臨床業務

- 病棟業務
- 救急番
- 病棟番
- 初診外来
- 当直

**コロナ禍の中、発熱診療、予約外診療
や救急対応の難しさがある中で、**

**若手の先生方が本当に頑張ってくれて
います！！ありがとうございます！！**

主な入院

主科

急性腎障害・腎機能増悪
固有腎生検
腎炎・ネフローゼ加療
合併症入院（感染症、心不全など）
血液透析導入
腹膜透析導入
PET検査
移植レシピエント・ドナー精査
移植腎生検・内科合併症

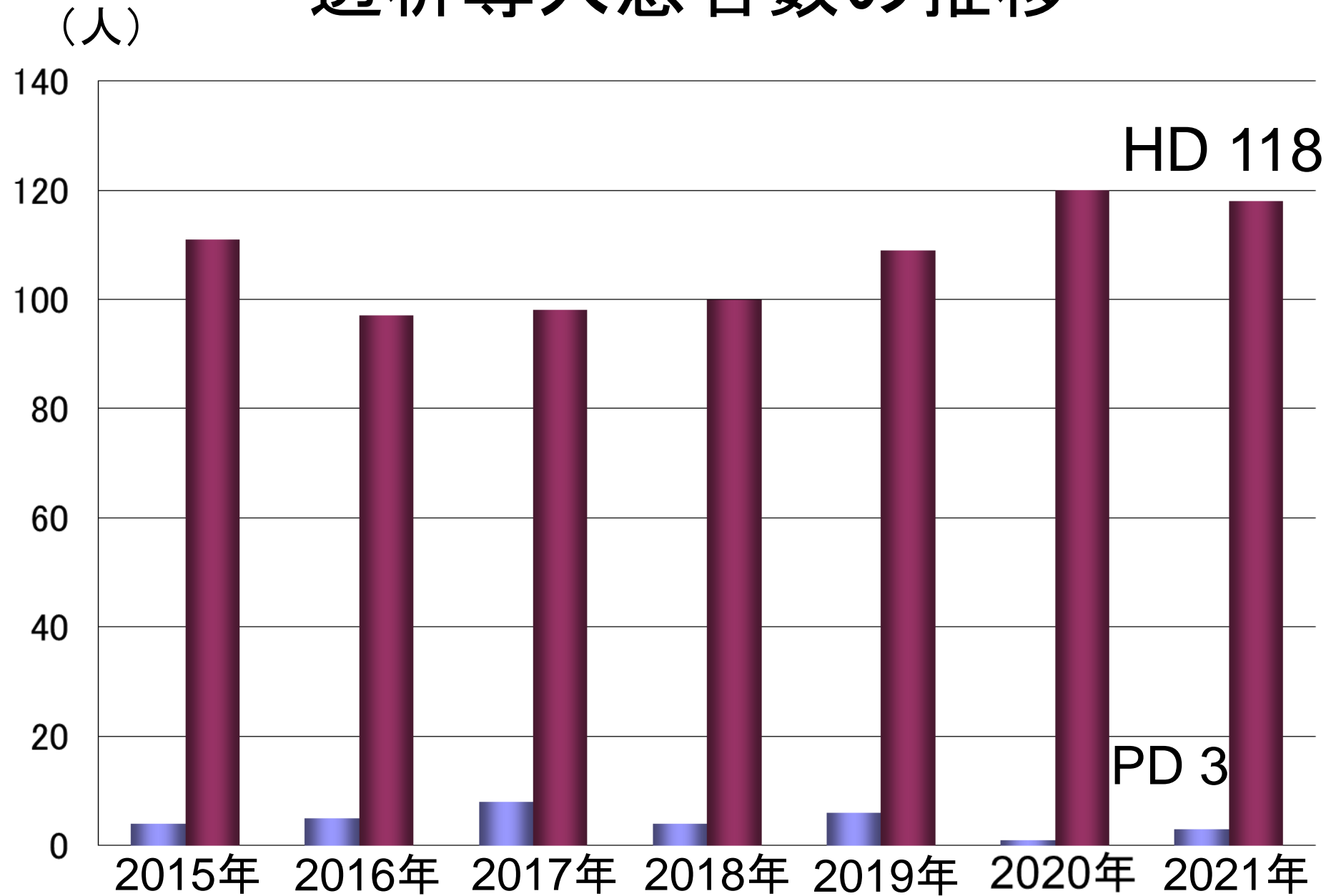
兼科

透析管理
急性腎障害・腎機能増悪
透析見合わせ・非導入（CKM）
電解質異常
その他の血液浄化療法

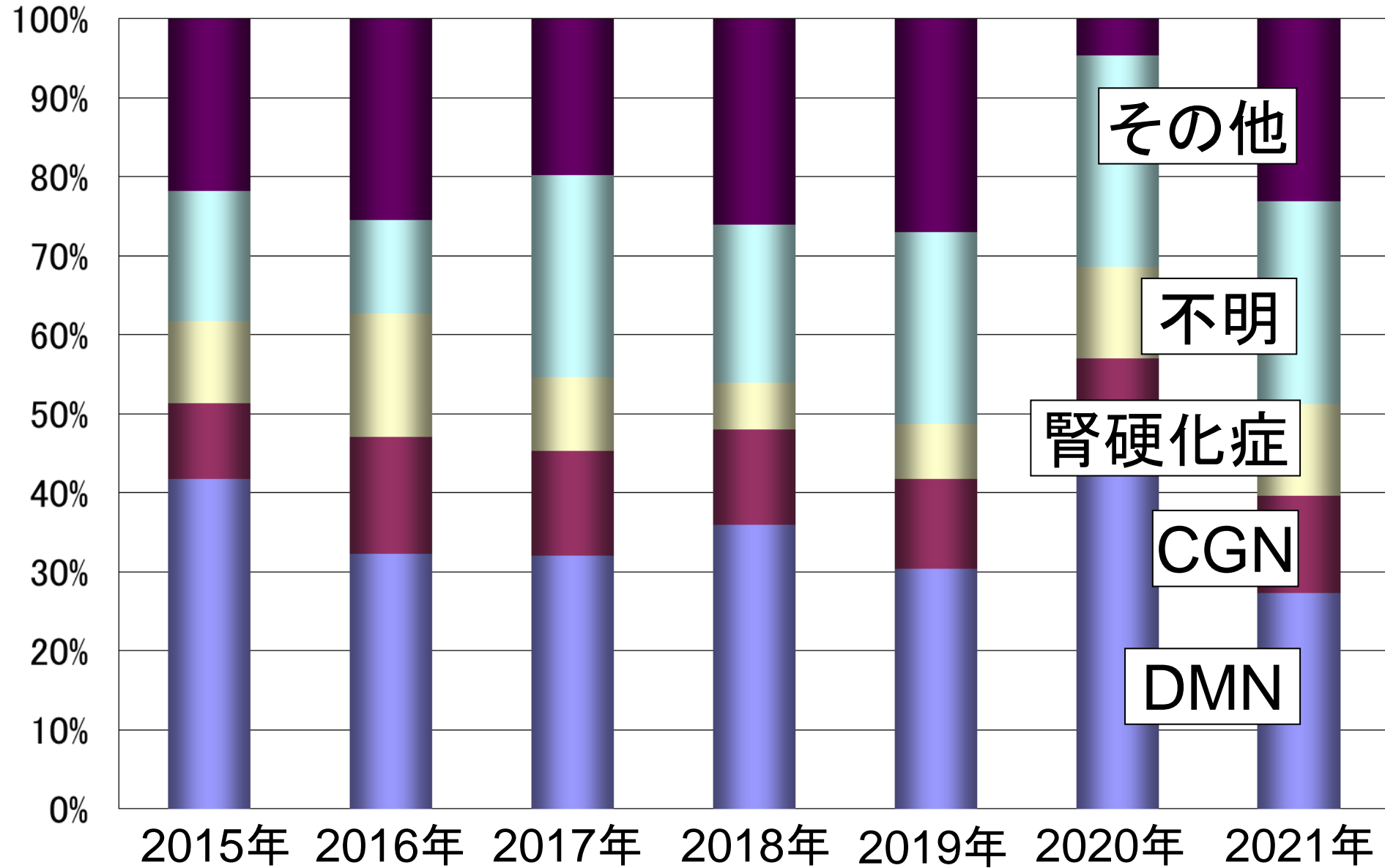
腎生検内訳 (2021年度 n=46)

IgA腎症	18	尿細管間質性腎炎	2
IgA血管炎	1	腎アミロイドーシス	1
Minimal change	3	ANCA関連腎炎	3
FSGS	2	糖尿病性腎症	4
膜性腎症	2	クリオグロブリン血漿性腎炎	1
基底膜菲薄病	1	ループス腎炎	2
Alport症候群	1	その他	5

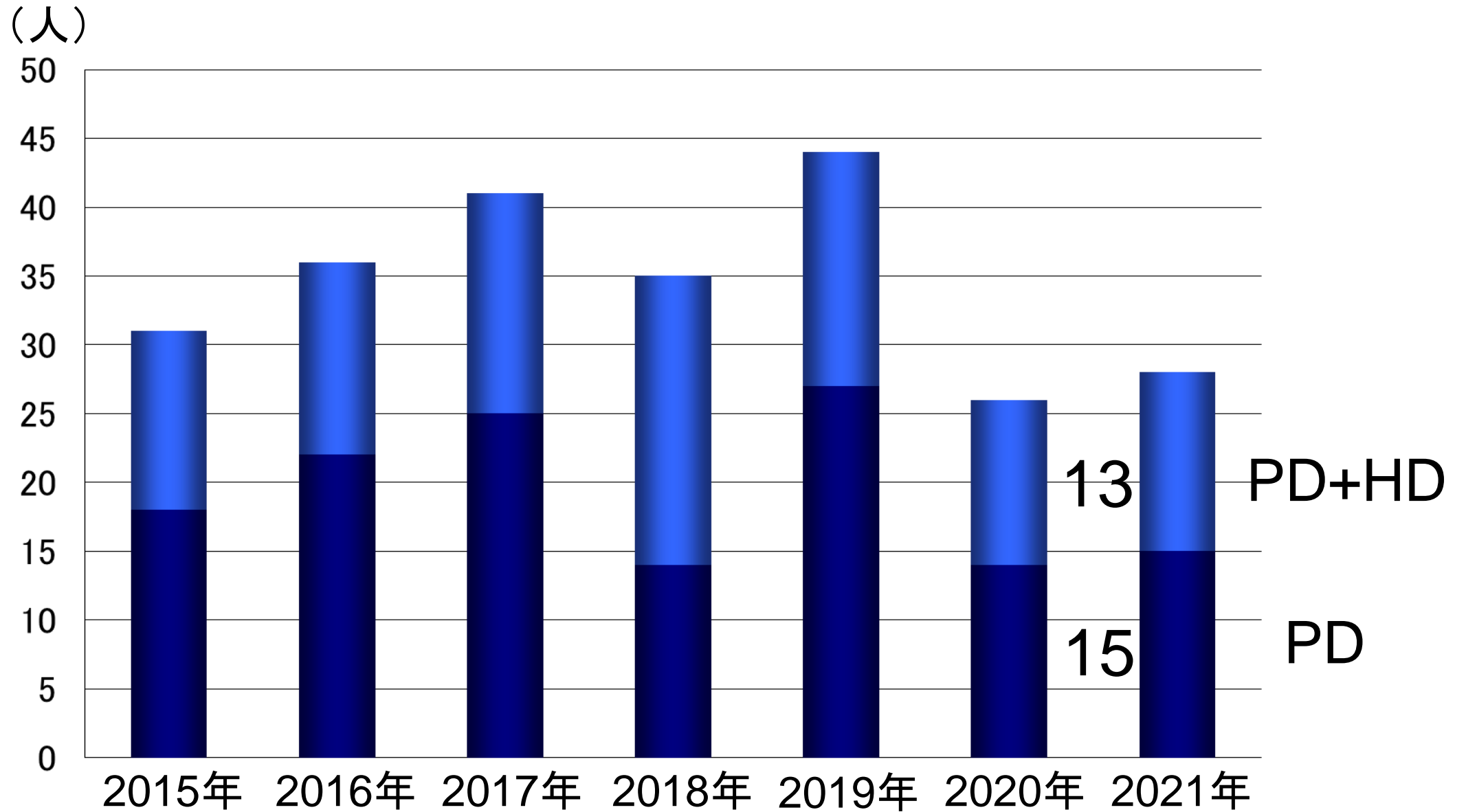
透析導入患者数の推移



透析導入患者の主要原疾患の推移



腹膜透析患者数の推移



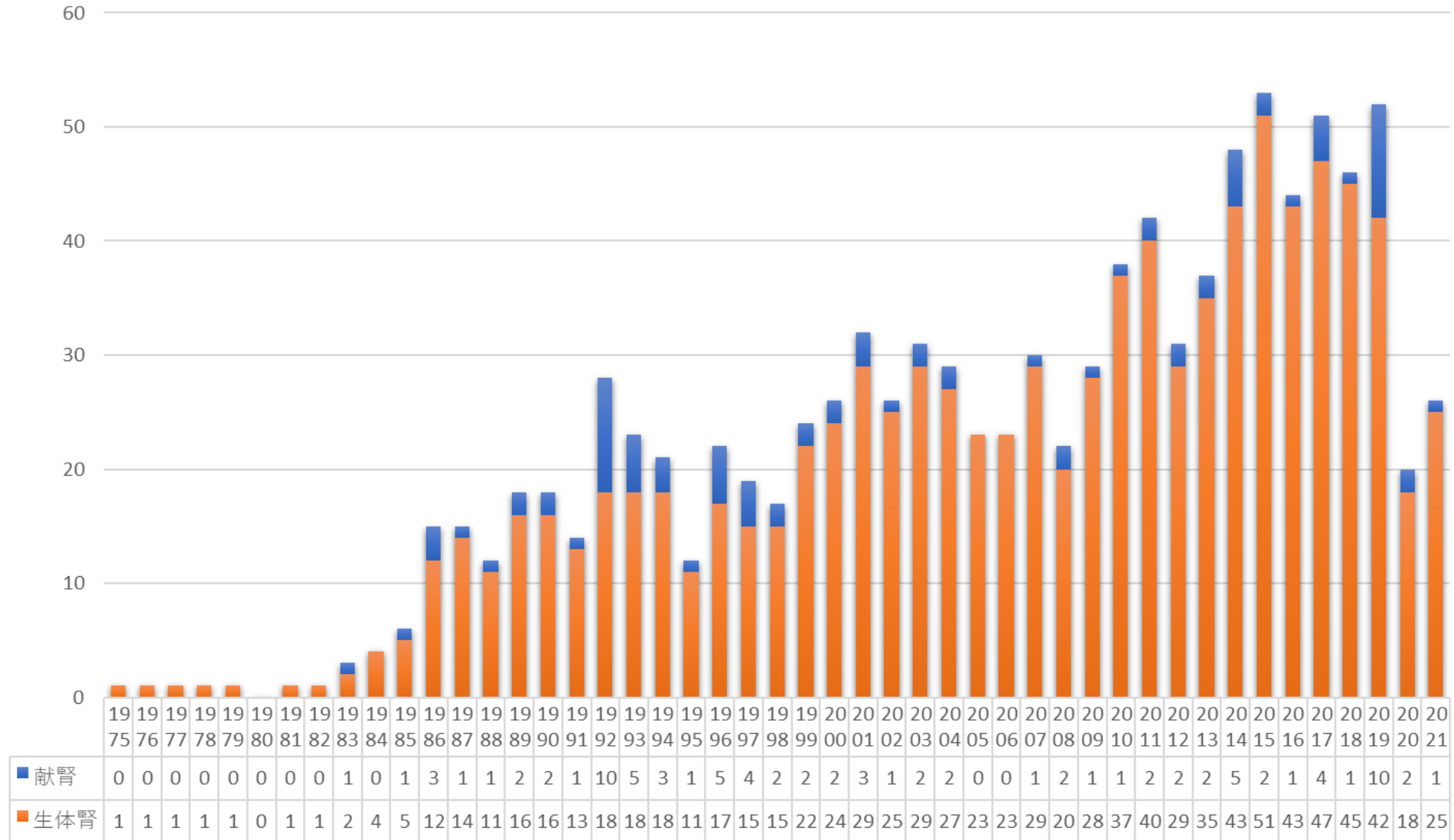
手術関連 2017・2018・2019・2020・2021年

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
内シャント造設術	152	190	208	169	144
人工血管移植術	40	28	44	30	21
上腕動脈表在化手術	3	8	4	2	2
カフ型カテーテル留置術	37	40	52	71	43
内シャント閉鎖術	32	26	38	19	18
過血流制御手術	N/A	3	2	16	他オペ内カウント
エコーガイド下PTA(血栓除去を含む)	153	179	228	327	420
透視下PTA	286	221	121	37	19
腹膜透析カテーテル留置術	12	8	17	3	6
腎移植術	51	46	52	18	26
計	766	749	766	692	699



腎移植件数推移

総数 1037例(2021年12月末まで)



教育

各班毎日1,2回のカンファレンス、オンザジョブトレーニング

内科カンファレンス週1回、全体カンファレンス週1回、
PDカンファレンス月1回
(主科全員プレゼン、兼科、外来の問題症例の相談)

内科勉強会 (月1回)

病理web勉強会 (2,3月に1回)、病理診断ローテーション (3,4か月ローテ3名ずつ)、
東邦腎病理カンファ (年1回)

内科専攻医症例チェック (J-Osler), 研修医epoc (レポート), 学生レポート

学会発表、研究・論文作成指導

学位 (2021年度)

荒井太一先生 (乙)

Nephron

Research Article

Nephron
DOI: 10.1159/000512143

Received: July 14, 2020
Accepted: October 8, 2020
Published online: December 2, 2020

Clinicopathological Analysis of Acute/Active Antibody-Mediated Rejection in Renal Allografts According to the Banff 2013 Classification

Taichi Arai^a Hideyo Oguchi^a Kazunobu Shinoda^a Kei Sakurabayashi^a
Tetuo Mikami^b Yoshihiro Itabashi^a Ken Sakai^a

^aDepartment of Nephrology, Toho University Faculty of Medicine, Tokyo, Japan; ^bDepartment of Pathology, Toho University Faculty of Medicine, Tokyo, Japan

Nephron

Research Article

Nephron
DOI: 10.1159/000512136

Received: July 16, 2020
Accepted: October 7, 2020
Published online: December 1, 2020

大西弘夏先生 (甲)

Pathological Analysis of Early Transplant Glomerulopathy in Renal Allografts Using Low-Vacuum Scanning Electron Microscopy

Hiroka Onishi^{a,b} Hideyo Oguchi^b Kazunobu Shinoda^b Tetuo Mikami^c
Taichi Arai^b Yutaka Yamaguchi^d Ken Sakai^b

^aDepartment of Nephrology, Toho University Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan; ^bDepartment of Nephrology, Toho University Faculty of Medicine, Tokyo, Japan; ^cDepartment of Pathology, Toho University Faculty of Medicine, Tokyo, Japan; ^dYamaguchi's Pathology Laboratory, Chiba, Japan

年間論文業績 (和文)

荒井太一⁺、小口英世⁺、酒井 謙⁺： 腎移植貧血治療の意義と目標値：ガイドラインの国際比較を含めて
3) 移植後貧血について. 腎臓内科 13 (5) : 594 -599 , 2021

高上紀之、小口英世、酒井謙： 【腎疾患治療薬update】(第3章)泌尿器科疾患 腎移植に使われている免疫抑制薬 カルシニューリン阻害薬 腎移植におけるシクロスポリン. 腎と透析 : 594 -597 , 2021

須藤 友紀⁺、酒井 謙⁺： 新しい鉄剤と使用法の進歩. 透析フロンティア 31 (3) : 12 -18 , 2021

小口英世⁺、酒井謙⁺： 末期腎不全患者の内科診療
腎移植の基本的な戦略とマネジメント 内科医の立場から. 内科 128 (5) : 981 -983 , 2021

小口英世： 【腎疾患の診察・検査できてますか?診断精度からポイント・落とし穴・本音・限界まで現場で活躍中の指導医たちがやさしく語る!】. レジデントノート. : 2434 -2437 , 2021

酒井謙*⁺： 保存的腎臓療法をどう進めるか. 臨牀透析 37 (4) : 365 -370 , 2021

小口英世、酒井謙： わかる！できる！腎臓リハビリテーションQ&A. 山縣 邦弘 , 星野 純一 , 松永 篤彦 170-171. 医歯薬出版, 東京, 2021

酒井 謙： たんぱく質制限にはどのような効果があるのでしょうか？それはなぜですか？. CKDの最新食事療法のなぜに答える 基礎編 Ver.2 61-65. 医歯薬出版, 東京, 2021

酒井謙： 腎代替療法導入の見合わせについて教えてください. 腎臓病診療Q&A AKI~CKD~腎難病まで 179-179. 東京医学社, 東京, 2021

酒井謙： 導入管理. 血液透析診療指針 81-84. 東京医学社, 東京, 2021

小口英世 (分担): 間質の線維化 非腫瘍性腎病理アトラス (原稿提出中)

小口英世 (分担): 臓器移植関連CMV感染診療ガイドライン in press

年間英文業績 (英文)

Goto S, Oguchi H, Sakai K, Mikami T, Ichikawa D, Yazawa M, Koike J, Furuichi K, Kawabata M, Yokoyama H, Sofue T, Ibuki E, Nishi S : Association between expanded criteria for living kidney donors and renal biopsy findings. Journal of nephrology : 不明 , 2022

Wada T, Ishimoto T, Nakaya I, Kawaguchi T, Sofue T, Shimizu S, Kurita N, Sasaki S, Nishiwaki H, Koizumi M, Saito S, Nishibori N, Oe Y, Yoshida M, Miyaoka Y, Akiyama S, Itano Y, Okazaki M, Ozeki T, Ichikawa D, Oguchi H, Kohsaka S, Kosaka S, Kataoka Y, Shima H, Shirai S, Sugiyama K, Suzuki T, Son D, Tanaka T, Nango E, Niihata K, Nishijima Y, Nozu K, Hasegawa M, Miyata R, Yazawa M, Yamamoto Y, Yamamoto R, Shibagaki Y, Furuichi K, Okada H, Narita I : A digest of the Evidence-Based Clinical Practice Guideline for Nephrotic Syndrome 2020. Clinical and experimental nephrology : 1277 -85 , 2021

現在進行中の研究

嶋田友紀先生（レジデント）

慢性活動性抗体関連拒絶反応におけるメサンジウム融解の臨床病理学的意義

高上紀之先生（社会人大学院生）

移植腎における尿細管上皮多核化の臨床病理学的意義

先行的腎移植の有用性におけるシステマティックレビューとメタ解析

中山侑泉先生（社会人大学院生）

IgG陽性IgA腎症におけるIgGサブクラスの検討

人工透析患者における、細胞内外液比、栄養関連指標と心疾患の関連

慢性腎臓病におけるBUN/Cr比と腎予後との比較検討

酒井謙先生

高齢者腎不全、透析非開始、見合わせの全国アンケート（AMED研究）

小口

腎移植後IgA沈着症例における糖鎖異常IgA1解析を用いた予後予測の試み（分担、科研費）

臨床

臨床・教育・研究のバランス

次世代の勧誘、教育

各自 + α (得意分野)をもつ

教育

研究